

東濃社会教育だより

-社会教育委員編-



恵那県事務所
振興防災課 振興防災係
社会教育担当:長瀬
〒509-7203
恵那市長島町正家後田 1067-71
TEL:0573-26-1111 内線 208

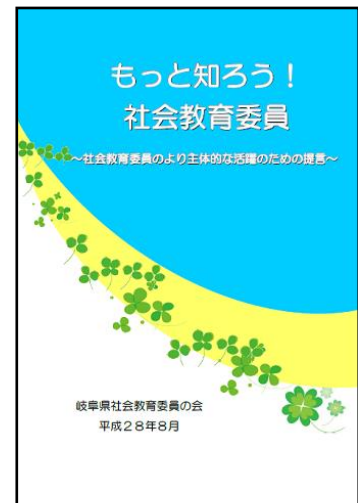
社会教育委員の職務とは？

~今回のピックアップ~

どの市にも、公民館関係者、まちづくり市民会議（協議会）の方々、コミュニティ診断士等、社会教育や生涯学習に携わられる方はたくさんおられます。中でも、社会教育委員は、社会教育の充実や推進に欠かすことができない大切な存在です。今年度は、東濃地区49名の社会教育委員が各市から任命（平成30年5月現在）されました。全体の半数以上の26名の方が今年度から新しく社会教育委員として活躍していただくこととなります。社会教育委員を15年継続して務められた郷田恵美さんをはじめ、今年度で社会教育委員を終えられる方には、社会教育や生涯学習のためご尽力いただいたことに対し感謝申し上げます。

平成29年度に行った県の調査によると、社会教育委員が開催した会議の年間平均回数は3.1回です。年間に6～8回会議を開催されている土岐市、瑞浪市、恵那市は、県下のトップ3となっています。東濃地区は社会教育委員の力のおかげで、社会教育や生涯学習を充実させることができています。社会教育委員に任命された方から「やる気はあるが、何をすればよいのかわからない…」という話をお聞きします。一度「もっと知ろう！社会教育委員」をインターネットで検索して参考にさせていただくとよいと思います。

瑞浪市では、平成28・29年と2年間を費やし、市内の公民館を視察され、昨年終わりに課題研究報告書を作成されました。また、資質向上を目指して積極的に研修会等に参加されているとも聞いています。今後、学校運営に地域住民らが参加する「コミュニティスクール（学校運営協議会制度）」や「地域学校協働本部」などと、地域・学校が両輪になって相乗効果を発揮させる仕組みづくりが進んでいきます。これからも東濃地区の社会教育、生涯学習の推進に向け、お力添えをよろしくお願ひします。



まずは「もっと知ろう！社会教育委員」をインターネットで検索しよう！

社会教育法より

(社会教育委員の職務)

第十七条 社会教育委員は、社会教育に関し教育委員会に助言するため、次の職務を行う。

- 一 社会教育に関する諸計画を立案すること
 - 二 定時又は臨時に会議を開き、教育委員会の諮問に応じ、これに対して意見を述べること。
 - 三 前二号の職務を行うために必要な研究調査を行うこと。
- 2 社会教育委員は、教育委員会の会議に出席して社会教育に関し意見を述べるができる。
 - 3 市町村の社会教育委員は、当該市町村の教育委員会から委嘱を受けた青少年教育に関する特定の事項について、社会教育関係団体、社会教育指導者その他関係者に対し、助言と指導を与えることができる。

岐阜県社会教育主事等研修会

兼 地域コーディネーター等研修会より

平成30年6月21日 恵那庁舎にて

先月「各市における地域学校協働活動やまちづくりの円滑な実施を推進するための担当者の資質向上、活動に従事する地域人材の育成を図る。」ことを目的とし、岐阜県社会教育主事等研修会兼地域コーディネーター等研修会が開催されました。

東濃地区では、教育研究会の妹尾昌俊氏からの講演およびワークショップに、生涯学習・社会教育行政関係者、公民館館長、社会教育委員等、29名の参加がありました。3時間にわたる講演とワークショップとなりましたが、最後まで真剣に話を聞いたり、熱心にディスカッションをしたりする姿が見られました。学校のリアルな現状から、学校と取り組む地域づくりについて「なぜ行うのか、何をめざすのかという思い(ビジョン、目標)を共有するためのワークショップ」でした。今回の話の内容を、各市に持ち帰り「思いのない学校、地域」「思いだけの学校、地域」ではなく「思いを実現できる学校、地域」をめざそうと決意された方も多かったと思います。まずは、私たちが、自覚をもって、やる気スイッチを入れていきましょう。

参加者の声

《学んだこと》

- ・これからの子どもたちにとって、地域学校協働活動がなぜ必要なのかを深く考える機会となった。
- ・生きる力の意味、育てることの意味を再考させられた。
- ・10年20年後を見据えて仕事をしていきたい。
- ・学校の現状を十分理解したうえで、目標・ゴールを明確にすることの大切さが分かった。
- ・自分の取り組みに対して勇気付けられた。

《感想》

- ・「学校を核に」という表現に抵抗感がある人がいることも予想されるので「子供たちに」を前面に出すとよい。
- ・今後、地域の公民館担当者等にも伝えて、社教主事講習受講者も増やしていきたい。(行政職員)
- ・最近聞いた講話の中で一番ためになった。
- ・ワークショップが入っていて刺激になった。
- ・参加型で楽しい研修であった。

平成30年度 岐阜県子ども会育成大会を終えて

さる6月24日に、笠原中央公民館において、岐阜県子ども会育成大会が266名の参加者の中、盛大に開催されました。前号でもお知らせしたように、土岐市子ども会連合会と東濃ジュニアリーダーズクラブが、実践発表をしました。土岐市子ども会連合会からは、主に、日常生活やものづくりに必要な技能を身に付けることを目的とした「GINO CON」の実践や活発な子ども会活動の様子が発表されました。また、東濃ジュニアリーダーズクラブからは、会場全体を巻き込むレクリエーションやジュニアを通して学んだ、ジュニアの熱い思いや願いが発表されました。リハーサルでは照れが見られたジュニアも、本番では別人のように堂々と役を演じ、一瞬にして観客の心をつかみました。今回発表したジュニアは、東濃地区から集まった中学校3年生から高校2年生の生徒です。こうした場や役を乗り越えることで成長し、今後、子ども会の場だけでなく様々な場で、社会に貢献していく人材に育っていくことを確信しました。岐阜県子ども会連合会事務局からも、東濃地区の発表が高く評価されました。

